

# MUSEUM

2006Summer

# EYES

ミュージアム・アイズ

Vol.

# 45

Mm  
MEIJI UNIVERSITY  
MUSEUM

## 図解五拾五條

この絵画資料は、明治5(1872)年に制定された「いしがかいじょうれい違式註違条例」を絵解きしたもので、本館刑事部門に展示しています。「収蔵室から」では、この法令ともう一枚の錦絵を素材として「文明開化」について考えてみました。ぜひ一読いただき、展示室の本資料をいま一度じっくりとご覧になってみてください。



◆特集◆

# 明大生と博物館

- ◆ 明治大学博物館2006年度特別展  
「掘り出された<子ども>の歴史  
—石器時代から江戸時代まで—」
- ◆ 明治大学黒耀石研究センターの活動
- ◆ 収蔵室から
- ◆ M2カタログ
- ◆ ミュージアムレポート
- ◆ 博物館の情報発信
- ◆ 来た・見た・聞いた明治大学博物館
- ◆ 博物館友の会から “古文書を読む会”

明治大学博物館



# 明大生と博物館

展示室以外にも  
明治大学博物館には、  
多くの人を訪れます。  
利用頻度が高いのは  
やはり明大生。  
明大生の博物館利用の様子を  
ご紹介します。

206日  
211-21  
地

## 図書室

博物館図書室には10万点を超える数の蔵書が架蔵されています。全国の展覧会図録をはじめ、各部門の活動内容に合わせた特徴ある蔵書がそろっています。例えば、考古部門には全国津々浦々の発掘調査報告書、刑事部門には法制史関係の図書や手に入りにくい地方雑誌、商品部門には産地でしか売っていない工芸品関係の図書等も架蔵されています。年間5000人以上の利用者があり、多くの明大生の研究活動に利用されています。



月曜日と金曜日は開室延長をしているので18:30まで利用できます。



## 調査活動

収蔵資料の調査活動は博物館の重要な仕事のひとつですが、この調査には様々な形で明大生が参加しています。そこには、「もの」を通じた学びの世界が存在しています。



【刑事部門の内藤家文書近代史料の調査】  
明治・大正期の手紙や日記・帳簿を読んで、一点毎に内容を記録していきます。調査も二年目に入り、ますます古文書を読むのが楽しくなって来た様です。



【考古部門の収蔵鉄器調査】  
収蔵されている鉄器の数と種類をチェックし、保存処理が必要なものがないか調査しているところです。湿気を防ぐためシリカゲルの入れ替え作業も並行して行います。

## 実習

毎年多くの明大生が博物館で学芸員資格取得の為の館務実習を受けています。



【商品部門の実習風景】  
新収蔵資料1点ごとの登録台帳カードの作成作業。実習の成果が、資料の保管体制の中に組み込まれてゆきます。何十年も経った後、後輩達が利用する、ということもあるでしょう。

また、様々な場面で学生ボランティアが博物館活動を強力にアシスト！  
今年の特別展でも昨年と同様に、受付業務を担当する学生ボランティアを募集します。  
詳しくは**博物館事務室(03-3296-4448)**までお問い合わせください。  
博物館との関わり方は十人十色。まずは、あなたも博物館に遊びに来てみませんか？

## <展示会予告>

明治大学史資料センター主催  
『学徒兵と明大生』

- 期 間…7月1日～8月21日(月)  
\*8月10日(木)～16日(水)、19日(土)、20日(日)は休館
- 会 場…明治大学博物館特別展示室
- 入場料…無料

掘り出された<子ども>の歴史 -石器時代から江戸時代まで-

期 間 … 2006年10月7日(土)～12月10日(日)  
 会 場 … 明治大学博物館特別展示室(明治大学アカデミーコモン地下1階)  
 入 場 料 … 300円(明治大学学生・教職員、リパティ・アカデミー会員、明大カード会員、明治大学博物館友の会会員、高校生以下の学生児童、愛の手帳・身体障害者手帳をお持ちの方は身分証・手帳の提示で無料)

長い日本列島の歴史のなかで、社会における子ども像がどのように移り変わっていったのかを、地中に残されたさまざまな資料や情報から考古学的に復元することをテーマとした展覧会です。

主な展示資料としては、妊娠を示す土偶、稲作が始まった時代の水田に残った大人と子どもの足跡、玩具のはしりである平城京出土の木とんぼや、明治大学リパティタワー建設の際に記念館跡から出土した江戸時代のままごと道具など、誕生・成長・そして死と、子どもにまつわる様々な場面が、考古学的な資料からよみがえります。

中でも注目されるのは、縄文時代に北日本を中心に作られた、子どもの手や足を粘土板に押し付けて形を残した「手形・足形粘土製品」です。ぬくもりさえ感じさせる小さな手や足の痕跡は、当時の子どもたちの息吹をいきいきと伝えてくれます。

このように、これだけの幅広い年代・地域と多彩な種類の子どものかわる考古資料が一堂に会するのは国内でも初めての試みです。これまでの歴史の中で、大人にとって、また社会にとって子どもがどのような存在であったのか、ひいては現代社会の大人と子どもの関係を考える上で、何らかのヒントを私たちに与えてくれるかもしれません。この機会に、ぜひ一度ご覧ください。



妊娠を示す土偶(千葉県江原台遺跡 当館蔵)▶

関連イベント

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1</b> 開幕記念特別講演会<br/>「絵画資料から読み解く子ども史-中世から近世へ-」</p> <p>講 師 黒田 日出男氏(東京大学史料編纂所教授・群馬県立博物館館長・立正大学文学部教授)</p> <p>日 時 2006年10月6日(金) 14:00～15:30</p> <p>会 場 明治大学アカデミーコモン2階会議室</p> <p>定 員 200名(要申し込み)</p> <p>申し込み・問い合わせ先 明治大学博物館事務局<br/>03-3296-4448</p> | <p><b>2</b> 明治大学博物館公開講座:第40回考古学セミナー<br/>「考古学からみた歴史のなかの子どもと家族・社会」</p> <p>考古学から見た子どもと家族・社会のかかわりの変化について考えます。</p> <p>回 数 全5回(毎週金曜日18:00開催)</p> <p>期 間 2006年10月20日～11月24日</p> <p>受 講 料 すべてを受講して5,500円(リパティ・アカデミー会員でない方は入会金3,000円が必要です)</p> <p>問い合わせ先 明治大学リパティ・アカデミー事務局<br/>03-3296-4423</p> |
|---|--|

黒耀石研究センターは、2000年度に学術フロンティア推進事業「石器時代における黒耀石採掘鉱山の研究」にもとづき長野県小県郡長和町(旧長門町)に建設されました。今年度からは、博物館分館に位置づけられて、長和町とのさまざまな社会連携事業の展開を推進します。

長和町には、著名な黒耀石原産地である和田峠、男女倉、星糞峠があります。明治大学と旧長門町は、星糞峠原産地を中核に形成された鷹山石器時代遺跡群で、継続的な調査と研究を行ってきました。星糞峠にある縄文時代黒耀石採掘鉱山は、国の史跡であり、一般公開されています。黒耀石研究センターは、隣接する長和町立星くずの里黒耀石体験ミュージアム(<http://www.town.nagawa.nagano.jp/hoshikuzu/>)と共同で、石器時代の黒耀石にかかわる情報発信を行っています。



▲センター外観

虎狼痢予防絵説 ころりふせきのえとき

—文明開化とコレラ予防—

本館刑事部門の導入展示では、古代から近代に至る法制資料を掲げていますが、その中に現在の軽犯罪法にあたる「違式註違条例」を絵解きした「図解五拾五ヶ條」という絵画資料があります。明治5(1872)年に制定された「違式註違条例」は、明治政府が文明開化をすすめるべく制定した法令の中でも代表的なものとして知られています。この「図解五拾五ヶ條」を眺めてみると、家の前や下水の掃除を怠る者、往來に向かって幼児に排泄させる者は罰することを説明した絵が見受けられます。明治時代初期の法令には、このように衛生的価値観を推奨するものが確認でき、文明開化と衛生が密接に関わっていたことがわかります。

現在は「健康ブーム」といわれて久しく、衛生的な環境づくりにも積極的に気を配っていますが、当時の人々にとっては馴染みのないものでした。そのため、明治政府がいくら法令を通して衛生的価値観を推奨しても、当時の人々にはなかなか浸透しません。しかし、ある事件をきっかけに衛生は急速に制度化され、人々の日常生活に強制的に介入するようになります。

その事件とは、明治10(1877)年のコレラの流行でした。コレラは、激しい嘔吐や下痢を来たす致死率の高い急性伝染病で、同年の流行では、1万3千人以上の患者をだし、そのうち8千人以上が死亡しました。コレラは文政5(1822)年に初めて日本に上陸し、安政5(1858)年に全国規模で流行しました。未知の伝染病により次々と死者がでるなか、当時の人々はいろいろな神を担いで市中を練り歩き、「疫病神」を追い払うといった呪術的行為で対応しました。

一方、明治政府は徹底した消毒などの予防方法を規定した「虎列

刺病予防法心得」という法令を制定します。しかし、これまで神に祈っていた人々にとって、消毒は馴染みのない対応であり、当然、速やかに浸透しないことが予想されます。そのためか、コレラ予防に関しても、その内容をわかりやすく絵解きした錦絵が作成されました。

そのうち、本館所蔵の「虎狼痢予防絵説」と題された錦絵をみましょう。まず注目していただきたいのは、図中の「疫病神」に対し「石炭酸」という消毒薬を散布している点です。これまでは疫病神を呪術的行為で追い払っていたのに対し、ここでは消毒薬で疫病神を



虎狼痢予防絵説

追い払っています。ここから近代以来の慣習ではなく、西洋文明に依拠した対応が見受けられます。また、消毒を散布する「予防隊」に目を向けると、それが警察であることがわかります。コレラ予防は、警察を中心として実施され、予防を否定する人々とはしばしば衝突しました。明治15(1882)年頃に流行したとされる「いやだいやだよ じゅんさはいやだ じゅんさコレラの先走り チョイトチョイト」という歌からは、人々がコレラと同様に警察にも恐怖を感じていたことがうかがえます。

こうしてコレラ予防-文明開化は、警察の厳重な取り締まりを伴いながらすすめられました。本館刑事部門は、江戸時代を中心とした構成となっていますが、今回とりあげた我々の日常生活に密接に関わる衛生にも警察が関わっていたことを知っていただき、明治時代の刑事についても興味を持っていただければと思います。

(竹原万雄)

**M2 グッズ** ミュージアムショップ「エムツー」で販売しているグッズを紹介するこのコーナー。第6弾はTシャツをご紹介します。常設展示室の刑事部門で展示されている十手や、考古部門で展示されている土器などがイラストされたTシャツです。フリーサイズなのでどなたでもゆつたりと着ることができます。一番人気は刑事部門の「ニュルンベルクの鉄の処女」がイラストされた赤いTシャツです。これを着て歩けば注目を浴びること間違いなし!

- |                                |                  |        |
|--------------------------------|------------------|--------|
| 売り上げBEST3<br>(3月～5月)<br>～刊行物編～ | 1位 常設展示案内ガイドブック  | 800円   |
|                                | 2位 内藤家文書増補・追加目録8 | 1,000円 |
|                                | 3位 明治大学記念館前遺跡    | 500円   |



価格 赤:1,700円 白:1,500円

【指定管理者制度】

2003年、地方自治法の一部が改正され、指定管理者制度が設けられました。これは住民サービスの向上と行政コストの削減を目的とし、指定を受ければ企業やNPOといった民間団体も博物館などの公的施設を管理できるという制度です。この改正は、指定管理者制度が適用される公立博物館にどのような影響を与えたのでしょうか？

これまでも業務の委託は行われていたものの、権限や責任は自治体が担っていました。指定管理になると、民間団体に一定の裁量権が与えられる為、課題であったサービス向上やコスト削減に柔軟な対応が可能になると考えられます。実際、学芸部門以外を民間委託した館では、対応が向上したというケースもあります。しかし、管理期間が限定されていることや、施設の使用許可・料金徴収といった業務の代行が可能になったことを併せてみると、収蔵資料の十分な活用ができるのか、事業内容の偏りや料金の値上がりなどの問題が起きるのではないかと、といった不安も残ります。

指定管理者制度の導入問題により、博物館側が「サービス」や「コスト」について強く意識するようになったことは良い影響と言えます。しかしこの制度では、収蔵資料の継続的な研究とそれを土台とした資料の活用という博物館の本来あるべき姿や、それを実現する職員の専門性をどのように保証するのかという問題が曖昧なままにされています。そのような中、自治体は博物館を指定管理にするか否かの選択期限を迎えています。残念ながらこうした状況は地域住民にほとんど知られていません。

この制度は、図書館や体育館といった公的施設全体に適用されるという点で、博物館だけにとどまらず、皆さんにとっても身近な問題といえます。指定管理者制度を巡る動向にアンテナを伸ばしてみたい方がでしょうか。

(渡辺 美知代)

博物館の情報発信

明治大学博物館は、これまで様々な方面からの取材に応じ、新聞やテレビ、ラジオなど多くのメディアに登場しました。旅行ガイドブック等に掲載される博物館の紹介がほとんどですが、時には学芸員が出演してインタビューに応じたり、あるいは著名な方が番組や雑誌の取材のため来館されたりすることもあります。

最近では、NHKラジオ第一放送「きょうも元気でわくわくラジオ」で紹介され、またお笑いコンビ「ラーメンズ」の片桐仁さんが、雑誌「テレビプロス」に連載されているコラムの取材のため来館されました。

▼お笑いコンビ「ラーメンズ」の片桐仁さん



◆7頁の「来た・見た・聞いた 明治大学博物館」のコーナーには、ここ最近当館が掲載されたメディアが一覧になっていますので、ぜひご覧ください◆

メディア掲載一覧

資料写真掲載

- 資料掲載【「ニュルンベルクの鉄の処女」】  
『月刊Magazine ALC』3月号 アルク
- 資料掲載【埼玉県砂川遺跡の接合資料】  
【新潟県荒屋遺跡出土細石刃石器群】  
須藤隆司「八風山遺跡群」新泉社
- 資料掲載【「地方測量之図」】  
『見て楽しむ江戸の科学技術(仮)』数研出版
- 資料掲載【「引廻しの図」(『徳川幕府刑事図譜』)】▶写真  
【「火刑取片附の図」(『徳川幕府刑事図譜』)】  
【「引廻行列」(『刑罪大秘録』)】  
『浅草草子』エスピー・ピー
- 資料掲載【昭和24年群馬県岩宿遺跡確認調査時の写真】  
【群馬県岩宿遺跡岩宿Ⅰ石器文化出土石器写真】  
【群馬県岩宿遺跡岩宿Ⅱ石器文化出土石器写真】  
『笠懸町開町記念誌』
- 資料掲載【神奈川県獅子ヶ谷出土弥生土器】  
東海大学文明研究所編『文明への視座』東海大学出版会
- 資料掲載【「刺又」】  
独立行政法人日本スポーツ振興センター東京支所ホームページ「子どもを守ろう!〜学校・地域の防犯〜」独立行政法人日本スポーツ振興センター
- 資料掲載【群馬県岩宿遺跡出土打製石器】  
『スターロードビュー』ハードディスク 日本ライブラリー
- 資料掲載【神奈川県夏島貝塚出土土器】  
東京電力ホームページ
- 資料掲載【「東京入城(東京府京橋之図)」】  
大日本スクリーン製造株式会社 会社案内ビデオ 映像商会
- 資料掲載【「離別一札之事」】  
高木侃「泣いて笑って『くたがら』」教育出版
- 資料掲載【「鎧鎧」(石見守直次作)】  
ネットミュージアム兵庫文学館 企画展示「宮本武蔵」兵庫県立美術館
- 資料掲載【千葉県江原台遺跡(曲輪ノ内貝塚)出土資料、千葉県八木原貝塚(千代田遺跡)出土資料、千葉県天神前遺跡出土資料】  
『印旛の原始古代(縄文時代編)』印旛都市文化財センター
- 資料放映【群馬県岩宿遺跡出土石斧】  
【東京都茂呂遺跡出土ナイフ形石器】  
【神奈川県月見野遺跡出土尖頭器】  
【北海道白滝服部台遺跡出土細石刃】  
『NHK学校デジタルライブラリー「社会科番組クリップ」』NHK教育

- テレビ 2007年4月
- 資料放映【「地方測量之図」】  
『スカイパーフェクTV!765ch サイエンスチャンネル「地図物語〜位置の表現〜」第4回「伊能忠敬と久米通賢」』スカイパーフェクTV! 2006年4月
- 資料放映【「慶安の御触書」】【「仲間鑑札」】  
『NHK学校デジタルライブラリー「社会科番組クリップ」』NHK教育テレビ 2007年4月
- 資料放映【「ニュルンベルクの鉄の処女」】  
『天竺太・ウィンチ最大の謎と秘密の暗号〜モナリザ・最後の晩餐に隠された真実を追え!〜』フジテレビ 2006年5月20日



「引廻しの図」

館紹介等の取材・撮影・掲載  
(雑誌・ラジオ・ウェブサイト)

- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
『東京下町散歩・山の手散歩』2007年版 成美堂出版
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
地域サイト「千代田day's」財団法人まちみらい千代田
- ◇放送【明治大学博物館・刑事部門紹介】  
「きょうも元気で わくわくラジオ」NHKラジオ第一放送
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
平成18年度「生涯学習ハンドブック」千代田区
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
『社会人のための大学案内』2007年度用 晶文社出版
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
『広報千代田』千代田区
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
『TV Bros.』東京ニュース通信社
- ◇掲載【明治大学博物館紹介】  
『一度は行ってみたい 東京の美術館・博物館 選りすぐり200を歩く』中経出版

団体見学の記録 2006年3月～2006年5月

- 【一般】 悠歩会(14名)・明治大学長野県父母会役員(10名)・日立本社五七会(9名)・川崎市民ミュージアム友の会(12名)・NHK文化センター光が丘教室(10名)・はなみずき会(5名)・八千代栗谷遺跡研究会(23名)・東京藤陰会(8名)・ダックス・クラブ(20名)・明治大学校友会柏支部(30名)・千代田区文化財保護調査員会(16名)・春秋会(14名)・江東区城東老人福祉センター(35名)・NHK文化センター「下町あるき」講座(27名)・日本トライブロジ学会転がり疲れ研究会(20名)
- 【小・中学校】 岩手県盛岡市立仙北中学校(6名)・明治大学付属中野中学校(267名)・愛知県稲沢市立治郎丸中学校(3名)・田辺市明洋中学校(30名)・秋田県横手市立山内中学校(10名)・秋田県八郎湯中学校3年生(3名)・愛知県大府市立大府西中学校3年生総合学習歴史・伝統コース(3名)
- 【高等学校】 東京都立白鷺養護学校高等部(10名)・いわき秀英高等学校(25名)
- 【大学・大学院】 上海交通大学卓球部(16名)・明治大学文学部原ゼミ3年生(20名)・共立女子大学(30名)・雲南農業大学訪問団(14名)・同徳女子大学(4名)・明治大学経営学部薩摩ゼミナール3年生(18名)・明治大学文学部史学地理学科考古学専攻新入生(37名)・日本大学法学部南部ゼミナール(20名)・創価大学見学実習(22名)

# 友の会分科会“古文書を読む会”



深まりゆく樹木の緑の下、今年の課外授業が行われました。今年のテーマ「小江戸川越の史跡を訪ねる」に基づき、事前授業を受けた資料を片手に、中院-東照宮-川越大師喜多院-美芳野神社-川越本丸御殿-市立博物館、最後は時の鐘です。

1994年3月、「古文書を読む会」は友の会の分科会として発足しました。明治大学刑事博物館収蔵の古文書をテキストとして、その時代を生きた人々と時代背景を学ぶことをテーマに神崎彰利学芸員、伊能秀明学芸員を講師にお迎えして、会員17名、当時の刑事博物館閲覧室からの出発でした。翌年より毎月の定例講義の他に課外授業や、2日連続で開く夏期講座等、さまざまな計画を實行することができるようになりました。

1995年8月、栃木県足利市に所在する旧家に宿泊させていただき、同家に保存されている徳川時代から代々受け継がれた古文書で勉強することができました。同行して下さった神崎学芸員、伊能学芸員の熱心な講義は食事の後先に及び、眠さをこらえて必死に学びました。これも皆、若いエネルギーを貯えて集まったからでしょう。これを期に毎年行われる課外授業では、かならず事前勉強を行い、資料に基いて見学することをテーマに回を重ねています。後に外山徹学芸員が講師に加わって下さり、一層意欲の湧く分科会へと進んでいきます。

1999年12月6日、特別講演会と会員の発表を古文書を読む会

主催で開くことができましたのもその一例でしょう。友の会のみならず一般の参加者も加わり100名余の方々も出席して下さいましたのは、会員にとりましてうれしい事でした。

神崎学芸員の相模原市博物館館長就任にともない、2001年より森朋久文学部講師にその役は受け継がれました。

「古文書を読む会」は友の会の分科会として発足以来12年の歳月を重ね、今はゆったりと歩みながら、新しく入って来られる方々といつからでも学べるよう、会員一同、古文書資料に親しんでいます。

例会は毎月第3月曜日・午後2時～3時30分です。

古文書に興味をお持ちの方、一緒に勉強しませんか!

古文書を読む会では新規参加者を募集しています。ご興味のある方は友の会までご連絡下さい。

【博物館友の会 連絡先】

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1  
 明治大学博物館 友の会宛

## 博物館案内

### 【開館情報】

**開館時間** 10:00～16:30 (入館16:00まで)

**休館日** 夏期休業日(8/10～8/16)  
 冬季休業日(12/26～1/7)  
 8月の土・日に臨時休館があります。

※開館時間・休館日には変更の場合があります。

**観覧料** 常設展無料  
 特別展は有料の場合があります。

### 【図書室ご利用案内】

**開室時間** 月・金 10:00～18:30  
 (8、9、2、3月は10:00～16:30)  
 火～木 10:00～16:30  
 土 10:00～12:30

**閉室日** 日曜・祝日・大学が定める休日

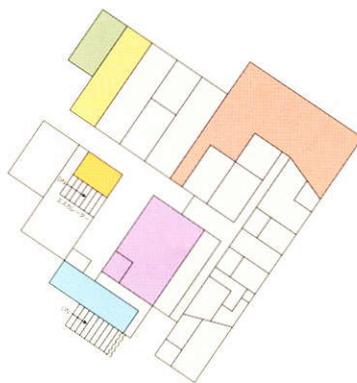
※図書室はどなたでもご利用いただけます。

※蔵書は原則閲覧・コピーのみとなりますのでご了承ください。



■交通機関

- JR御茶ノ水駅(中央線)から徒歩5分
- 地下鉄御茶ノ水駅(丸の内線)から徒歩8分
- 地下鉄新御茶ノ水駅(千代田線)から徒歩8分
- 地下鉄神保町駅(都営新宿線・半蔵門線)から徒歩10分



施設案内(B1)

- 図書室
- 体験学習室
- 博物館教室
- ミュージアム・ショップ
- 特別展示室
- 大学史展示室



### 編集後記

- 涼しげな夏号、出来は如何でしょうか?(日)
- 明治大学博物館は開かれた博物館です。みなさんも学びにいらしてください。(さとた)
- 分かりやすい文章を書く難しさを痛感しました。少しでも皆さんに興味を持って頂ければ幸いです。(わ)